

# 平成28年度予算要求 子どものための文化芸術プロジェクト事業

## 自由都市堺文化芸術まちづくり条例

### 文化芸術の振興に関する基本的施策

#### 【文化芸術の担い手を育成する】

- 文化芸術活動を行う環境の整備
- 文化芸術に親しむことができる環境の整備
- 学校教育における文化芸術活動の充実
- 将来の文化芸術を担う子どもたちの育成
- 文化芸術を支える人材の育成
- 多様な分野との連携

#### 【堺らしい文化を創造・発信する】

- 歴史文化資源の継承及び活用
- 魅力的なまちの景観の創出
- 文化施設の活用
- 国際的な文化芸術の交流
- 経済活動との連携

### 文化芸術の担い手の育成施策（プラン）

文化芸術を創造・継承していくのは市民です。新進・中堅の芸術家から子どもたちまで幅広い層を対象に、レベルや段階に応じた施策・事業を推進し、将来の文化芸術の担い手を育成します。

#### 文化芸術を体感する機会を創出します

・様々な場所で定期的に文化芸術事業や市民参加型事業を実施し、文化芸術を体感することで、市民が堺の文化の担い手として、自主的・主体的に文化芸術活動を行う機会を創出します。

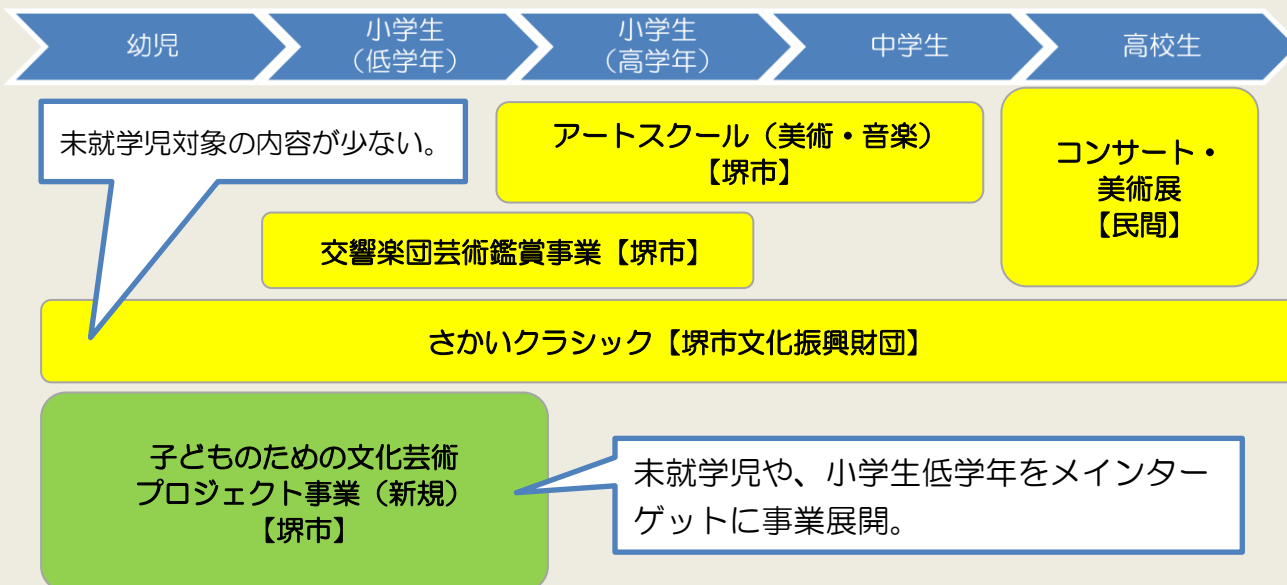
#### 子どもたちが文化芸術に親しむ機会を拡充します

・子どもたちの豊かな感性と創造性を引き出すため、文化芸術の鑑賞やワークショップ、芸術家との交流など、優れた文化芸術に親しむ機会を拡充を図ります。

#### 堺から新進アーティストを発掘します

・コンクール事業等を通じ、新進アーティストの発掘に努めるとともに、活動の場の提供などの活動支援や市民への文化芸術を体感する機会の提供に取り組みます。

### 現在実施事業における対象年齢（高校生以下）



## 子どもたちが文化芸術に親しむ機会の拡充を中心に事業を展開

### 美術鑑賞プログラム（新規）

#### 目的

「堺 アルフォンス・ミュシャ館」でミュシャ作品を使用した、対話型鑑賞教育プログラムで子どもたちの観察力、想像力、注意力、言語表現力、コミュニケーション能力、抽象的・哲学的思考力などを伸ばすことを目的とする。  
(参考事例：東京都美術館・ハルカス美術館 etc)

#### 内容

「堺 アルフォンス・ミュシャ館」の休館日（月曜日）に鑑賞を行うことで、他の観覧者を気にせず、ゆったりとした環境で鑑賞授業を行うプログラムを実施。  
生徒たちに作家名や作品の意味といった美術に関する知識を教えるのではなく、こどもたちの声に耳を傾け、対話によって鑑賞を深める。  
授業の事前準備から当日まで、サポートを行う。

○生徒一人一人に作品をじっくり見てもらい、ミュシャ作品から見て感じたことを発表することで、「美術作品」を見て感じる力、考える力、コミュニケーション能力を養うとともに、多様性の発見につなげる。  
○美術に関する知識がなくても、鑑賞することができ、「美術鑑賞は楽しいもの」と気付いてもらう。

### 子どものためのコンサートプログラム（新規）

#### 目的

未就学児は、考える力などよりも、物事を感じる力が発達する時期のため、質の高い音楽に触れる機会を提供することで、豊かな音楽的感性を育み、将来の文化芸術の担い手や観客層を育成するとともに、堺市の優れた文化芸術の創造に寄与する。

#### 内容

平成28年度からモデル事業として、未就学児でも楽しめるプロオーケストラ（大阪交響楽団）によるコンサートを実施する。

### アートスタートプログラム（継続）

#### 目的

美術の体験型導入プログラムを実施することで、美術ファンのように作家や作品への知識がなくても楽しめるものだと感じてもらい、将来の文化芸術の担い手や観客層を育成し、堺市の優れた文化芸術の創造に寄与することを目的とする。

#### 内容

映像やサウンドなどを交えたデジタル技術を活用したコンテンツを実施し、子どもの文化芸術に対する関心を高める。加えて、常時参加できるコンテンツとし、人のアクションによって反応するインタラクティブなものや、時間により“動き”や“変化”をもたらすものなど、参加型のコンテンツを実施する。